

## 復興の基本目標について（案）

### 《「復興の基本目標」の必要性》

復興に当たっては、地域社会のあらゆる構成主体が連携して、復興の主体となり、岩手の総力を結集し、地域社会に根ざした復興をなし遂げることが重要。

また、全国、世界各地から寄せられている様々な支援や参画の広がりを契機とし、つながりを力に、開かれた復興を進めることが重要。

そのためには、被災者をはじめ、県民をはじめとした多様な復興の主体、国の内外に対して、復興への決意とその目標を明らかにし、共感に基づく広範な連帯と参画を得ることが必要。

**「人と自然が共生し  
人と人がつながり 躍動する  
安全で 豊かな ふるさと岩手の再生」**

復興委員会 総合企画専門委員会における意見等を踏まえて検討していくもの。

### 《考え方》

今回の大震災津波による犠牲と被害の大きさと「津波はいつかまた来る」ということを胸に刻み、「再び人命がそこなわれるような津波災害を今回で終わりにする」という決意のもと、津波災害に強い安全・安心の地域社会づくりを通じた復興を実現する。【安全、自然との共生】

犠牲者の故郷への思い、脈々と地域に継承されてきた歴史や文化を次代に継承し、復興を果たした「ふるさと」が、一人ひとりにとっていきいきと暮らすことのできる「ふるさと」であり続けることのできるような地域社会づくりを通じた復興を実現する。【ふるさと】

「なりわい」と「暮らし」を早急に再生し、誰もが再び人間らしい日々の生活を取り戻すことができる被災者一人ひとりに寄り添う人間本位の復興を実現する。【なりわい、暮らし、人】

地域の主体的な考えを踏まえ、コミュニティの回復・再生を図りながら、三陸の海が持つ多様な資源や潜在的な可能性などの特性を生かした復興を実現する。【豊かさ】

全国、世界から寄せられている支援や参画の広がりをきっかけとして、人と人、地域と地域といったつながりをさらに広げ、多様な参画による開かれた復興を実現する。【つながり】

《参考》 復興委員会 総合企画委員会等で出されたキーワード

- ・「ふるさと」が「ふるさと」であり続ける
- ・つながり
- ・暮らし
- ・なりわい
- ・コミュニティ
- ・安全と豊かさ
- ・人と人の共生、人と自然の共生
- ・「創造的」でなく「改革的」復興
- ・寄り添う
- ・今やるべきことをやる